

【参考情報】海外在住の研究者が利用可能な日本のファンディングプログラム

2026年4月

日本医療研究開発機構、日本学術振興会、科学技術振興機構

注：本情報は今後変更される可能性があるため、最新の情報は各事業・プログラムのホームページ等で確認いただきたい。

【海外の研究機関に所属したまま応募・利用可能】

● さきがけ

海外研究機関に所属している日本国籍をもつ研究者は、海外機関に所属したままさきがけに応募可能。この場合、海外機関は、原則として JST が提示する内容で研究契約を結ばなければならない。

事業 HP : <https://www.jst.go.jp/kisoken/presto/index.html>

問い合わせ先 : rp-info@jst.go.jp

2026年募集 : 4月上旬～6月上旬頃

● CREST

海外機関に所属している研究者（国籍不問）を、日本のCREST研究代表者の下に、「主たる共同研究者」として加えることが必要不可欠と提案書で認められた場合、当該海外研究機関に JST から研究費を提供することが可能（例外的な対応）。この場合、海外機関は、原則として JST が提示する内容で研究契約を結ばなければならない。

事業 HP : <https://www.jst.go.jp/kisoken/crest/index.html>

問い合わせ先 : rp-info@jst.go.jp

2026年募集 : 4月上旬～6月上旬頃

● グローバル・スタートアップ・キャンパス（GSC）構想先行国際共同研究事業
国際研究プログラム（詳細は検討中）

ベンチャー・ディレクター（VD、PO相当職）が設定する革新的研究テーマの下、事業化を目指した研究開発を推進。大学・研究機関・企業（スタートアップを含む）等に所属する研究者を対象に、研究課題の公募・採択を行う。

研究代表者は応募時に国外機関（国外の大学、研究機関、企業等）に所属する研究者（国外研究者）であっても応募対象。研究者等を日本に呼び込むGSC構想の実現の観点から、国外研究者が採択された場合、当該国外研究者は国内研究機関に所属し、国内で研究を実施することを慫慂する。なお、国外研究者が国外で研究を実施する場

合、その国外機関への支出研究費合計は、研究課題への毎年度資金配分額の50%未満の範囲とする。

事業 HP : (詳細は準備中)

<https://www.jst.go.jp/gsuc/index.html>

問合せ先 : gsuc@jst.go.jp

2026年募集 : 2026年前半 (詳細未定)

- 海外特別研究員

海外特別研究員制度は、我が国の学術の将来を担う国際的視野に富む有能な研究者を養成・確保するため、優れた若手研究者を海外に派遣し、特定の大学等研究機関において長期間研究に専念できるよう支援する制度。日本国内の大学等に所属せず、海外等の大学で研究を行っている場合は個人申請が可能。

事業 HP : <https://www.jsps.go.jp/j-ab/index.html>

問い合わせ先 : kaitoku@jsps.go.jp

2026年募集 : 2月2日～5月11日 (例年2月上旬～5月中旬頃)

- 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業 (Interstellar Initiative)

独創的なアイデアを持つ若手研究者を世界中から公募し、3名1組の研究チームを編成したうえで、研究チームはメンターの指導のもと、ワークショップや予備実験を通じて、研究構想を発展させ、独創的・革新的な研究シーズを創出するための研究計画の立案を目指す。

※国籍や居住条件等の応募資格や公募情報は、ウェブサイトで最新の公募要領をご確認ください。

事業 HP : <https://www.amed.go.jp/program/list/20/02/002.html>

問い合わせ先 : interstellar@amed.go.jp

2026年募集 : 4月中旬予定 (例年は4月～5月)

- 地球規模保健課題解決推進のための研究事業 (日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募)

日米医学協力計画ではアジア地域にまん延している疾病に関する研究を日米両国で共有して行う。日本側サブチームの研究開発代表者 (PI; Principal Investigator) が日・米 (・アジア) から成る全チームを代表して応募。

※国籍や居住条件等の応募資格や公募情報は、ウェブサイトで最新の公募要領をご確認ください。

事業 HP : <https://www.amed.go.jp/program/list/20/01/007.html>

問い合わせ先 : nichibei@amed.go.jp

2026年募集：調整中（例年は3月～6月）

- 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業 戦略的国際共同研究プログラム
（SICORP）e-ASIA 共同研究プログラム
東アジアサミット参加国を対象とした多国間共同研究支援プログラム（米国は NIH/NIAID、日本は AMED が参加）
※国籍や居住条件等の応募資格や公募情報は、ウェブサイトで最新の公募要領をご確認ください。
事業 HP：<https://www.amed.go.jp/program/list/20/01/003.html>
問い合わせ先：e-asia@amed.go.jp
2026年募集：3月に〆切済、次回未定（例年は12月～3月）

- AMED-CREST
画期的シーズの創出に向けて国際的に高い水準の成果を目指すもので、研究開発代表者（日本国内の研究機関等に所属している研究者）を筆頭とするユニット（研究者集団）で研究を推進する。例外的に日本国外の研究機関に所属する研究者が、「研究開発分担者」として条件を満たせば参加可能。（詳細は公募要領を参照のこと）

事業 HP：<https://www.amed.go.jp/program/list/16/02/001.html>
問い合わせ先：kenkyuk-ask@amed.go.jp
2026年募集：4月上旬～5月下旬（予定）

【日本への帰国、移動時に応募・利用可能】

- さきがけ
海外の研究機関に所属してさきがけに採択された後、日本の研究機関へ研究費を持ったまま異動することが可能。その際に研究環境の整備が必要な場合には、そのための追加的な研究費を申請することが可能。
応募時点で所属機関を持たない、採択時の所属機関が決まっていない、あるいは所属機関の都合で退職せざるを得ない研究者（国籍不問）であっても、日本国内で研究を実施する受入先機関を自分で探し、責任を持って研究環境を整備し研究を完遂できると JST が認めた場合は、「さきがけ専任研究者」として JST が雇用し、受入先研究機関で研究を実施することが可能。但し、さきがけ専任研究者の雇用にあたっては、JST がその必要性を厳格に審査し、また受入先研究機関の事前承諾を得ていることが必須条件となる。海外研究機関を「さきがけ専任研究者」の受入先研究機関とすることは不可。

事業 HP : <https://www.jst.go.jp/kisoken/presto/index.html>

問い合わせ先 : rp-info@jst.go.jp

2026 年募集 : 4 月上旬～6 月上旬頃

- 創発的研究支援事業

海外研究機関に所属している研究者（ただし、博士号取得後 15 年以下である研究者のみ対象。出産・育児・介護による特例あり）は、採択後、最大 2 年間は研究開始を猶予できる。ただし、猶予期間終了の直後までに日本国内の研究機関（企業等含む）に所属して本事業の研究を開始する必要がある。

なお本事業では、さきがけ、CREST に見られる戦略目標や、特定の課題、短期目標を設定していない。

事業 HP : <https://www.jst.go.jp/souhatsu/>

問い合わせ先 : souhatsu-application@jst.go.jp

2026 年募集 : 3 月 27 日（金）～5 月 14 日（木）正午（日本時間）

- 科学研究費助成事業（国際共同研究加速基金（帰国発展研究））

帰国発展研究は、海外の研究機関等において、優れた研究実績を有する独立した研究者が、日本に帰国後すぐに研究を開始できるよう、研究費を支援するもの。

応募時点において帰国後の所属先が確定していない場合も応募可能。

日本学術振興会海外特別研究員として採用中の者（日本国内の研究機関に所属している場合を除く）についても、「独立した研究者」として活動しており、応募資格を全て満たせば応募が可能。

事業 HP : https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/35_kokusai/03_kikoku/

問い合わせ先 : kksi-kaken@jsps.go.jp

2026 年募集 : 未定（例年 7 月中旬～9 月中旬頃）

（2025 年実績 : 7 月 14 日（月）～ 9 月 17 日（水））

- 国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）

次世代 AI 人材育成プログラム（若手研究者支援）

クロスアポイントメント制度を活用した上で日本国内の研究機関に所属している間のみ実施可能だが、申請時の所属機関は国内外を問わない。現在日本国内の研究機関に所属していない場合、日本国内の研究機関とクロスアポイントメント協定に基づく雇用契約を締結した上で、その機関にて研究開始することを条件に応募可。

事業 HP : <https://www.jst.go.jp/program/boost/yr/index.html>

問い合わせ先 : boost-yr-inquiry@jst.go.jp

2026年募集：4月中旬～6月中旬を予定

【日本の研究チームの一員として海外に滞在】

- 先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）

ASPIRE に採択されている日本側研究チームに入り、「研究参加者」として海外の共同研究相手先に滞在可能。その際の旅費、滞在費、人件費、渡航先での研究に関わる研究用試薬・材料・消耗品費等や滞在時に発生する生活に必要な諸費用等を日本側の研究資金から支出可能。

また単独公募で採択された研究プロジェクトにおいて、パートナーとなる相手国研究機関に所属する若手研究者を含む研究者を、ASPIRE が支援している日本側の研究資金から旅費、滞在費、人件費等を支出する形で日本に招聘することが可能。

事業 HP：<https://www.jst.go.jp/aspire/>

問い合わせ先：aspire@jst.go.jp（トップのための ASPIRE）

aspirers@jst.go.jp（次世代のための ASPIRE）

2026年募集：3月13日（金）～5月19日（火）正午（日本時間）

- 医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業（先端国際共同研究推進プログラム ASPIRE）アライメント公募及び共同公募

国際共同研究を通じて我が国と科学技術先進国・地域のトップ研究者同士を結び付け、我が国の研究コミュニティにおいて国際頭脳循環を加速することを目指す。

【アライメント公募】

AMED が単独で、日本側研究者による相手国側研究者との国際共同研究課題を公募する形態。応募された課題提案を審査し、採択した課題において、AMED が日本側研究者を支援する。課題提案の条件として、国際共同研究を実施する相手国側研究者は、相手国側資金配分機関から何らかの支援を受けている、または今後支援される必要がある。

【共同公募】

相手国側資金配分機関と共同で国際共同研究課題を公募する形態。公募テーマは、本事業の対象となる分野・研究領域から相手国側資金配分機関と調整して設定。日本側研究者と相手国側研究者の国際共同研究の提案を募集し、相手国側資金配分機関と提案を共同で審査し、課題を採択する。採択した課題において、AMED は日本側研究者、相手国側資金配分機関は相手国側研究者をそれぞれ支援する。

本プログラムにおける課題の公募・審査・採択・支援等は国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）と国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）で実施し、AMED は「健康・医療」分野を担当する。

事業 HP：<https://www.amed.go.jp/program/list/20/01/009.html>

問い合わせ先 : amed-aspire@amed.go.jp

2026 年募集 : 米国が相手国となる公募は未定

アライメント公募 : 4 月下旬開始 (予定)

- その他

その他、多くの AMED 及び JST 事業では、研究計画で認められている場合には、研究プロジェクトの実施のために直接必要な「研究参加者」の海外出張の旅費、滞在費等を支出可能。詳しくは、自分の参画している事業の担当者に問い合わせること。

- JSPS 事業における海外渡航などに使用できる研究費について

多くの JSPS 事業でも、JST 事業と同じく研究課題を実施するために直接必要な研究者の海外出張の旅費、滞在費等を支出可能。詳細は各事業の担当者に問い合わせること。

- ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (HFSP)

ライフサイエンス分野における基礎研究を国際的に支援する研究助成プログラム。主として研究グラント事業を通じて、世界の科学者の国境を越えた革新的な共同研究への支援を、また、若手研究者に対し、出身国以外の国における研究の機会をもたらすポスドク・フェローシップ事業を行う。

事業紹介 HP : <https://www.amed.go.jp/program/list/20/02/001.html>

プログラムの運営は国際 HFSP 機構 (HFSP) が行っております。

応募にあたっては、HFSP ウェブサイトにて最新情報をご確認ください。

<https://www.hfsp.org/funding/hfsp-funding/research-grants>

<https://www.hfsp.org/funding/hfsp-funding/postdoctoral-fellowships>

問い合わせ先 : (AMED) amed-hfsp@amed.go.jp

(HFSP) grant@hfs.org, fellow@hfs.org

2027 年受賞サイクル :

1. 研究グラントプログラム／若手研究者

申請者登録番号の取得期限 : 2026 年 3 月 17 日 9 時 (米国東部時間)

Letter of Intent 申請締切 : 2026 年 3 月 26 日 9 時 (米国東部時間)

Full Proposal 申請締切 : 2026 年 9 月中旬

2. ポスドク・フェローシップー長期／学際的

申請者登録番号の取得期限 : 2026 年 5 月 5 日 9 時 (米国東部時間)

Letter of Intent 申請締切 : 2026 年 5 月 12 日 9 時 (米国東部時間)

Full Proposal 申請締切 : 2026 年 9 月 24 日 9 時 (米国東部時間)

※AMED 公募の予定やメド等を早めにわかりやすくまとめた「公募カレンダー」もあります。適宜ご参考ください。

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.amed.go.jp%2Fcontent%2F000117274.xlsx&wdOrigin=BROWSELINK>